

昆虫の特徴

以前はどこでも見られた里山の昆虫は、開発や造林等により、全国各地姿を消しつつあります。ここではその昆虫たちが今なお姿を見せてくれます。



アカタテハ

タテハチョウ科

日本全土に分布。食草はイラクサ、ヤブマオ、コアカソ(イラクサ科)、ケヤキ、ハルニレ(ニレ科)、ホップ、カナムグラ(クワ科)など。平地～低山地の林縁、路傍などによく見られる。敏速に飛び、花や地面に翅をやすめる。成虫(まれに幼虫)で越冬。

発生 5～11月(2～4回)



アサギマダラ

マダラチョウ科

食草はカモメヅル、キジョラン(ガガイモ科)など。飛翔はきわめてゆるやか。訪花性が強い。夏までは北上しながら長距離移動し、秋には南方へ移動する。蛹または幼虫で越冬。

発生 4～11月(3～4回)



イシガケチョウ

タテハチョウ科

食草はイヌビワ、オオイトビ、イチジク(クワ科)など。渓谷沿いの林縁に見られる。梢上には翅を開いてとまる。クリ、ソバなどの花にも集まる。近年、分布を北に拡大しつつある。成虫で越冬。

発生 5～10月(4～5回)



ウラギンシジミ

シジミチョウ科

食草はフジ、クズ、ヤマフジ、クララ(マメ科)など。照葉樹林帯の林縁に多く見られる。飛翔は敏速。訪花性は弱く、吸汁、吸水性が強い。成虫で越冬。

発生 6～10月(2～3回)



キチョウ

シロチョウ科

食草はネム、クサフジ、ハギ類(マメ科)、クロウメドキ(クロウメドキ科)など。明るい場所に多いが、生息環境は広い。飛翔はやや活発。訪花性ととも湿り吸水性强い。成虫で越冬。

発生 6～11月、越冬後翌春4月まで(5～6回)

みつけた！チェックしてね。



クロコノマチョウ タテハチョウ科

食草はジュズダマ、ススキ、アワ、トウモロコシ、アブラススキ(イネ科)など。低地の林間付近の草むらに見られる。樹液、腐果などで吸汁し、訪花はまれ。顕著な季節型(夏型・秋型)が現れる。

発生 6～11月(3～4回)

みつけた！チェックしてね。



コジャノメ タテハチョウ科

本州、四国、九州に分布。食草はアシボロ、チヂミザサ、ススキ、エノコログサ(イネ科)など。暗く湿り気のある木陰の環境を好む。吸汁、吸水するが、訪花はまれ。幼虫で越冬。

発生 4～10月(2～3回)

みつけた！チェックしてね。



ツバメシジミ シジミチョウ科

食草はハギ類、クズ、カラスノエンドウ、ツメクサ、マメ科など。河原、耕作地周辺の草地、牧草地などでふつうに見られる。ゆるやかに飛び、各種の花によく集まる。幼虫で越冬。

発生 4～11月(4～5回)

みつけた！チェックしてね。



ツマグロヒョウモン タテハチョウ科

食草はスミレ、フトスミレ、バンジー(スミレ科)など。低地～低山地の草原、空き地、人家の庭にふつうに見られる。雌の飛翔はゆるやか。訪花性が強いが、雄は吸水もする。雌は毒チョウのカバマダラに擬態しているとされる。幼虫で越冬。

発生 4～11月(4～5回)

みつけた！チェックしてね。



テングチョウ テングチョウ科

食草はエノキ、エゾエノキ(ニレ科)。雑木林の周辺、溪流沿いなどを、軽快に飛ぶ。訪花、吸水・吸汁する。成虫で越冬。

発生 6～7月、8～10月(少数種1～2回)

みつけた！チェックしてね。



ヒメアカタテハ タテハチョウ科

食草はゴボウ、アザミ、ヤグルマギク(キク科)、まれにオオバコ(オオバコ科)など。畑地など開けた明るいところに多い。敏速だが、地面によく翅をやすめる。訪花性が強いが、吸汁、吸水もする。世界共通種(汎世界種)として有名。成虫(ときに蛹)で越冬。

発生 4～11月(4～5回)

昆虫



みつけた！チェックしてね。

ベニシジミ

シジミチョウ科

食草はスイバ、ギシギシ(タデ科)など。明るい草地や公園などにふつうに見られる。飛翔はやや敏速。よく花に集まる。幼虫で越冬。

発生 3~11月(4~6回)



みつけた！チェックしてね。

ヤマトシジミ

シジミチョウ科

本州、四国、九州、南西諸島に分布。食草はカタバミ(カタバミ科)。食草を遠くはなれず低くチラチラ飛ぶ。花にもよく集まる。幼虫で越冬。

発生 3~12月(5~6回)



みつけた！チェックしてね。

ムラサキシジミ

シジミチョウ科

食草はアラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、クヌギ、カシワ(ブナ科)など。カシ類の樹林帯を好み、敏速に飛翔するがすぐに止まる。湿地や花にも集まる。成虫で越冬。

発生 5~11月(3~4回)



みつけた！チェックしてね。

ルリシジミ

シジミチョウ科

食草はフジ、クズ、ハギ類など(マメ科)のほか、ミズキ科、バラ科、ブナ科、タデ科、ミソバウツギ科、ヒルガオ科、ミカン科など。やや高所をゆるやかにチラチラ飛ぶ。花に集まり、湿地にも集まる。蛹で越冬。

発生 3~10月(4~5回)



みつけた！チェックしてね。

モンキチョウ

シロチョウ科

食草はシロツメクサ、ミヤコグサ、スズメノエンドウ、ダイズなどのマメ科。耕作地周辺や空き地などの明るい環境を好み、飛翔は敏速で花に集まる。雌には黄色型(雄型)と白色型の2型がある。幼虫で越冬。

発生 3~10月(5~6回)



みつけた！チェックしてね。

ルリタテハ

タテハチョウ科

食草はサルトリイバラ、ホトギス、ヤマコリ、オニユリ(ユリ科)など。低地~山地の雑木林周辺でよくみかける。飛翔は敏速で、路傍にとまり、ときに樹液にもくる。成虫で越冬。

発生 6~10月(3~5回)